

### 第三回国土交通省 IT 政策検討会

日時：平成28年5月16日（月）13：00～14：30

場所：2号館16階国際会議室

出席者：別紙のとおり

#### 【概要】

1. 事務局より、国土交通省所管業界におけるセキュリティ対策の実態調査結果等及び本検討会の報告書骨子案について説明を行った。
2. 岡田委員より、オープンデータ化について、国土交通省として踏まえるべき点について提案があった。
3. 塚本委員より、キャタピラージャパン株式会社における ICT、現場における IoT についての取組に関してプレゼンテーションがあった。

質疑応答を行ったところ、発言概要は以下の通り。

#### <資料及びプレゼンテーションについて>

- ・ 報告書の骨子案は、「情報化の推進」と「サイバーセキュリティ対策の推進」の二本柱と認識しており、これらは同じ程度の比重で書くべき。また、この二本柱が民間にとって「儲かる」＝「プラスになる」ということがわかるような書き方をすべき。
- ・ オープンデータ化について、地震その他の災害が発生した際、訪日外国人向けに必要な情報をどうやって伝えるか、また、物流の渋滞対策や必要とされている物資に関する情報をオープン化するという事も視野に入れるべき。
- ・ 岡田委員からの提案については、報告書に反映するよう検討すべき。また、オープンデータ化に当たっては、必要とされている情報が何なのか全体像を把握することが重要。
- ・ 業務全体の IT 化等をはじめ、一般の業務の効率化の上でも、セキュリティをセットでやっていくことが大事というアピールをするべき。
- ・ 中小企業対策として、既存の相談窓口を活用することを含め、セキュリティについて相談できる場所を設けることも検討すべき。
- ・ 情報共有体制の構築について、事態が発生した場合等の緊急連絡網のようなネットワー

クをつくり、周知することが課題。

- 企業では、データは沢山あるが活用されていないのが現状。情報活用によるメリットをもっと示すべき。
- どこまで情報の共通化・標準化をするかが重要。企業の個別の戦略についての標準化は難しいかもしれないが、公共政策的観点で生産性向上・労働力不足に対応するために、一定の標準化すべき範囲やテーマを考えるべき。

<今後の予定>

- 次回は6月中旬に開催することとし、日程を調整する。

(以上)